

 にいみ

市議会だより

2021年11月

第15号

新見市議会広報紙 9月定例会

目次

- ② 9月定例会審議内容・
9月定例会審議結果
- ③ 各委員会報告
- ⑥ 一般質問
- ⑫ 産業建設常任委員会視察・
新見市議会の動き
- ⑬ 議長等の活動報告
- ⑭ にーみんの議会Q&A・
12月定例会（予定）・
編集後記

深まりゆく秋 -城山公園にて

写真提供：写真で新見を繋げる会
(平成30年11月撮影)

令和2年度決算を認定

選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情は不採択

令和3年
9月定例会
審議内容

令和3年9月新見市議会定例会は、8月30日から9月28日までの30日間開催しました。

令和2年度新見市一般会計歳入歳出決算など決算10件、新見市新見文化交流館条例など条例6件、12億9556万円を追加する令和3年度新見市一般会計補正予算（第5号）など予算7件、新見市いぶきの里スキー場の指定管理者の指定についてなど議案4件及び発議2件、人事1件、請願1件、陳情3件を審議しました。各審議結果は次のとおりです。

令和3年9月定例会審議結果

●議案の部 可決等したもの

決 算	10件原案認定	その他議案	4件原案可決
条 例	6件原案可決	発 議	2件原案可決
予 算	7件原案可決	人 事	1件原案同意

●請願・陳情の部 採択したもの

請願・陳情番号	請願・陳情名
陳情第4号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

●請願・陳情の部 継続審査としたもの

請願・陳情番号	請願・陳情名
請願第1号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願
陳情第3号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する新見市独自の補助制度の創設を求める陳情書

●請願・陳情の部 不採択したもの

請願・陳情番号	請願・陳情名
陳情第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情

●議案に対して賛否が分かれたもの

議案番号	議員名	議席番号														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	議員名	土屋 将	林 司朗	峠 一也	仲 田 芳人	西 川 照雄	岡 崎 裕生	古 川 英明	宮 本 英基	岩 田 秀之	藤 澤 正則	林 光 和	塩 飽 満路	橋 本 亨子	榎 日出男	小 河 俊文
決算第3号	令和2年度新見市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
陳情第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×
発議第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対。議長は表決に加わりません。

各委員会報告

総務消防 常任委員会

辺地に係る公共施設
の総合整備計画の策
定についての議案を
審査

総務消防常任委員会を9月10日に開催し、付託された議案等の審査を行いました。

付託事件の審査

議案第5号 辺地に係る公共的施設
の総合整備計画の策定について

質疑・討論を行った結果、反対の発言はなく、原案のとおり可決しました。

その他審査

コロナ禍による厳しい財政状況に対
処し地方税財源の充実を求める意見
書(案)

全国市議会議長会から依頼のあった意見書案について協議し、意見書として提出することに決定しました。

報告事項について

●事務事業評価の結果について。

の提案があった。

委員問 法人税が減収していること
について今後への見通しは。

答弁 税制改正により税率が8・4%に下がったことによる減収であるが、税率を割り戻して換算してみると、実質は減収にはなっていない。

文教福祉 常任委員会

「やがらなる芸術・文化
の一層の振興を」
指定管理を見据えた
新見市新見文化交流
館条例を可決

文教福祉常任委員会を9月13日に開催し、付託された5議案、陳情3件を審査。その後、執行部からの報告事項と委員会からの調査を行いました。主な内容を紹介します。

付託事件の審査

条例第36号 新見市きらめき広場・
哲西条例の一部を改正する条例

機能訓練事業については、特別養護老人ホームのデイサービスと地域で実施するミニデイサービスに移行したので、機能訓練室を廃止し、施設の有効活用を促進するための条例改正が上程され、原案のとおり可決しました。

条例第38号 新見市新見文化交流館
条例

文化交流館に専門性の高い指定管理を導入することにより、さらに質の高いサービスを市民に提供でき、さらなる芸術・文化の振興を図る目的で上程され、原案のとおり可決しました。

請願・陳情について

陳情第2号 選択的夫婦別姓制度の
法制化を進める意見書の提出を求め
る陳情

陳情者への質疑後、意見交換を行いました。若い世代の支持が多いこと、改姓による心理的苦痛や不利益を避けられること、国会での法制化の議論を促進できること等の賛成意見に対して、中山間地域で今改正が必要か、家族が一体感を持つためにも時期尚早である等の反対意見が出されました。採決の結果、賛成5名、反対4名の僅差により、採択となりました。

陳情第3号 加齢性難聴者の補聴器
購入に対する新見市独自の補助制度
の創設を求める陳情書

陳情者や執行部への質疑後、意見交換をしました。今回は、この陳情に対する賛同署名も提出されていますが、全国の自治体で独自の補助制

度を実施している自治体数が1%未満の状況にあり、もう少し慎重に調査をしていく必要があるとの判断で、継続審査としました。

報告事項について

●新型コロナウイルス予防接種の状況について報告がありました。一時ワクチンの供給量が減少しましたが、9月の時点では、12歳以上のワクチン接種は順調に進んでいる、との報告がありました。

調査事件について

委員問 スポーツで全国優勝した時などには、祝意の懸垂幕を掲示すべきでは。また、スポーツ少年団への助成や全国大会出場等への助成をもつとすべきではないか。

答弁 懸垂幕については、前例に照らして判断していたが、今後前向きに検討したい。スポーツ少年団への助成や激励金等は、県内でも低いレベルではないと思うが、スポーツ振興の面から、今後検討していきたい。

委員問 緊急事態宣言によりスポーツ施設の利用をキャンセルした場合の利用料金についての考え方は。

答弁 今回は市民限定で利用可能という対応をしたため、コロナ禍ではあるが、利用者がキャンセルされた

場合は、キャンセル料を負担していただいた。



▲新見第一中学校ソフトボール部優勝報告会

産業建設 常任委員会

新見市いぶぎの里スキー場の指定管理者の指定について可決

産業建設常任委員会を9月14日に開催し、付託事件のうち、条例第41号と議案第8号を執行部の説明後、質疑討論を経て全会一致で原案のとおり可決しました。議案第7号については、審査の必要性から執行部に追加資料の提出を求める意見が出され、後日、追加資料を確認し、質疑から審査を再開しました。

また、請願第1号については、なお慎重な審議が必要であるとし、継続審査になりました。委員会での主な内容を紹介します。

付託事件の審査

条例第41号 新見市別所アウトドアスポーツセンター条例の一部を改正する条例

委員問 水車小屋の解体が終わって条例改正を上程するのは手続きとしておかしいのではないのか。

答弁 委員指摘のとおりであるので、今後は、公共施設の管理処分について疑義を受けることのないよう適切に手続きに努める。

議案第8号 新見市ふれあい加工施設(5) 神郷新郷加工施設の指定管理者の指定について

委員問 一度解散された組合が活動を始めるものだが、組合員の組織は何名で、平均はどの年代となるのか。

答弁 6名で組織されており、60代や70代で構成されている。

請願第1号 新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願

米の在庫数量などが不明なことから、継続審査としました。

9月17日に議案第7号について質疑から再開し、討論の後、賛成多数で可決しました。

議案第7号 新見市いぶぎの里スキー場の指定管理者の指定について

委員問 提案者の9つの計画について、いつまでに実現するのか。

答弁 この計画については、指定管理期間の5年以内で実施することになる。

委員問 子ども向けに練られた内容だが、大人向けの構想は。

答弁 石焼ピザやバーベキュー施設などで大人のグループも楽しめるような構想になっている。

委員問 この事業計画を確実に実施するよう指導すべきではないか。

答弁 事業計画が着実に実施されるよう、指導監督する。



調査事件について

委員問 執行部に対して、過去の市民からの要望について積み残しがないか。

答弁 災害対応を優先している。今後は、以前からの要望の中で緊急性の高いものから判断し、取り組む。

委員問 新見駅近くの老朽化した観光案内板の撤去は。

答弁 調査の上、必要があれば撤去も含め検討する。

予算決算 常任委員会

令和2年度決算を認定
令和3年度補正予算
を可決

予算決算常任委員会を9月15日、16日に開催し、9月議会に上程され、付託された18議案を審査し、すべて原案どおり可決しました。

決算審査

令和2年度一般会計の歳入決算額は325億3957万2千円、歳出決算額は302億4776万3千円で特別会計の歳入決算額は92億391万6千円、歳出決算額は88億9949万6千円となっています。

● 決算第1号 令和2年度新見市一般会計歳入歳出決算

● 決算第2号 令和2年度新見市診療所特別会計歳入歳出決算

● 決算第3号 令和2年度新見市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

● 決算第4号 令和2年度介護保険特別会計歳入歳出決算

● 決算第5号 令和2年度新見市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

● 決算第6号 令和2年度新見市観光事業特別会計歳入歳出決算

● 決算第7号 令和2年度新見市豊永財産区特別会計歳入歳出決算

● 決算第8号 令和2年度新見市萬歳財産区特別会計歳入歳出決算

● 決算第9号 令和2年度新見市水道事業会計の決算について

● 決算第10号 令和2年度新見市下水道事業会計の決算について

令和2年度一般会計歳入歳出決算は、翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支が、15億6522万円の黒字となっており、このうち7億9千万円については、地方自治法等の規定により、財政調整基金に4億円、減債基金に3億9千万円編入されました。

また、令和2年度新見市一般会計歳入歳出決算に対しては、費用対効果が疑われる事業も散見でき、次年度からの事業実施及び予算措置に特段の検討をされるよう強く求める付帯決議（案）を付することにより、賛成者多数で原案のとおり認定され、決算第2号から決算第10号までの9議案についても、原案のとおり認定されました。

議案

議案第6号 令和2年度新見市水道事業会計未処分利益剰余金の処分に
ついて

原案のとおり可決しました。

補正予算

予算第21号 令和3年度新見市一般会計補正予算（第5号）

令和3年度一般会計補正予算の歳入歳出それぞれ12億9556万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を254億4294万9千円とする補正予算について審査し、可決しました。主な予算は、新型コロナウイルス感染症対策事業に1億9040万円、予約型区域運行業務実証事業哲西全域と千屋全域、坂本及び菅生地区の一部を含む地域で、試験的に乗合タクシーを導入する事業）に1503万3千円、住民票の写し等コンビニニ交付事業に1200万円、木材生産向上支援事業に3千万円などを追加したものです。

地づく 会委員 周辺まち づくり 新見駅 周辺の 特別 地域

新見駅西エリアの 整備 進捗状況 について

9月21日に開催し、市長と各担当者から、新見駅周辺のまちづくり基本方針（案）及び新見駅西エリア居住棟1階スペースの検討状況について、説明を受けました。

居住棟1階スペースの管理運営に

については新見公立大学が行うと説明があり、地域共生推進センター駅前支所として活用するよう検討しているとのこと。活動内容は、子どもの発達支援を中心とした社会貢献事業及び居住学生が地域に貢献する活動を想定しているようです。

また、市から新見公立大学に対し、居住棟1階スペースの家賃及び内装工事費相当の財政支援を行うと説明がありました。

各委員は、テナント料の妥当性、家賃及び内装工事費相当の財政支援基本方針と駅西エリア開発の整合性などについて質疑をしました。

本委員会では、さらに幅広く意見を聴取し、市民や学生、地域住民の立場に立った、にぎわいのある新見駅周辺整備の実現に向けて、調査研究を続けていきます。



一般質問

※質問した議員が
原稿の執筆と校
正を行っていま
す。



ふじさわ まさのり
藤澤 正則
議員

令和3年度市長とフリートークを終えて

問 市長とフリートークの参加人数・質問件数・要望件数・その他開催概要の報告を。

答 7月26日から8月5日まで市内5会場で開催。全体で159人の参加で発言は38件あり、内訳は、要望が28件、提案が3件、質問が7件。

会場	参加者数	発言数	要望	政策提案
郷支局	27人	4件	3件	1件
多支局	20人	9件	9件	0件
西支局	27人	5件	5件	0件
佐支局	60人	12件	8件	0件
見支局	25人	8件	3件	2件

▲各会場の実績（実施順）

問 市民の自治意識感をどのように感じられたか。

答 市民の皆様と意見交換を行う中で、自治意識を醸成することが大切であると考えている。

問 フリートークの課題は。

答 参加された市民の皆様から、どのようにしたら気軽に意見が伺えるかを考えていく必要があると感じている。今後はフリートークの開催方法を工夫するなど、具体的に検討する。



▲市長とフリートーク開催状況
(会場：おおさ総合センター)

問 市民からの要望・提案・質問はどの様にして回答されるのか。他の自治体では、必

ず文章にて返信している市町村も見受けられる。そのことが行政と市民との信頼感の向上や自治意識の高揚につながるもので、本市においても同様に文章をもって返信すべきでは。

答 行政と市民との信頼感や自治意識の高揚を図ることは重要なことであり、今後は文章をもって回答するように努めていきたい。



きょうこ
橋本 亨子
議員

問 新型コロナウイルス感染症対策について

問 登校見合わせや分散登校、オンライン授業など柔軟な対応が必要では。

答 欠席の場合、保護者の申し出により校長の判断で欠席扱いとしない。臨時休校や登校できない場合に、オンライン授業を考えている。

問 放課後児童クラブについて、広い場所を保障する対策を。

答 空き教室や近隣の施設利用などは、現状では難しい。各クラブにオゾン発生装置・加湿器の整備、マスク・ペーパータオル等配布している。

問 対象者を広めてPCR検査を行政検査として実施すべきでは。

答 国からは、対象者を広くとらえ実施するよう通知されている。校長の判断で学級単位や学校単位でのスクリーニング検査実施の予算措置をしている。

問 農業振興対策について

問 今年産のコメ価格の見通しはどうか。

答 コシヒカリの一等米60kg当たり1万5000円で、前年より減額になっている。

問 生産費が1万5千円と言われているが、離農に拍車がかかるのではないか。

答 以前よりかなり安くなっている現状は認識している。需要が減少する中で需要のあ

る飼料米等への作付け変更の推奨、米価変動への補填は国の収入減少緩和交付金で対応している。

問 コロナ禍で需要が落ち込み余剰米が発生している。生活困窮者への食糧支援に活用し、需要を増やすべきでは。

答 食糧支援はコメの提供にとどまらないので関係機関と協議し調査、研究していきたい。

有害獣対策について

問 被害防止対策と捕獲状況はどうか。

答 大型捕獲柵・集落単位の複合防護柵の設置・駆逐煙火の配布をしている。令和2年度については、190頭を捕獲。

問 サル用大型捕獲柵の設置効果の検証と今後の設置箇所数を増やす考えは。

答 令和2年度、サル用大型捕獲柵で91頭のサルを捕獲、設置の効果は得られている。今後も計画的に設置箇所を増やしていきたいと考えている。



たわだ かずや
峠田 一也
議員

畜産振興について

問 平成28年2月及び令和2年2月における和牛飼育農家戸数とその頭数について。

答 平成28年2月の飼育戸数は91戸、頭数は3081頭。令和2年2月の飼育戸数は67戸、頭数は3124頭。

問 補助金を出して各種事業を行っているが、なぜ、増頭できないのか、事業の要項の見直しをするなど他県の事業を分析・検討してはどうか。

答 高齢化が進んでいる中、なかなか難しい。今後とも各種補助事業で増頭を図りたい。また、令和4年の鹿児島県全国和牛能力共進会に向けて取り組んでいきたい。

問 後継者の育成は、どのように取り組んでいるのか。

答 新見高校生物生産科の生徒を対象に調教講習会を行っ

ている。また、千屋牛教育ファーム体験授業を行い、千屋牛をより身近に感じてもらい、将来、畜産に携わる若者を育成する事業などを行っている。

問 市内の大規模農家の牧場では、場長が若返っている。これらが一堂に会して、日ごろの悩みや将来の夢を語る場を設けるのも後継者育成の一つではないかと思うがどうか。

答 関係機関などとともに意見交換会などを考えてみたいと思う。

問 堆肥処理はどのように行っているか。

答 新見市畜産環境整備事業を活用し、処理に必要な設備への補助を行っている。また、市内堆肥処理場への各種補助も行っている。

問 市として堆肥処理に関して、CO2(※二酸化炭素)削減対策は行っているか。

答 国を挙げてCO2対策を行っているので、その効果も検証しながら検討してみたいと思っている。

問 SDGs(※貧困や福祉などに関する17の国際社会の

目標)を考えた時、この堆肥処理は避けて通れない問題であるので、日本初の「密閉型堆肥処理プラント」を建設してみてもどうか。

答 国を挙げてCO2削減に取り組んでいるので、本市としても有効な施策があるようなら、取り入れていきたいと思う。



すずむ 将
つちや 土屋
議員

本市の高齢者の移動支援について

問 美咲町では「黄福タクシー」の使用料の半額を助成している。本市も独居高齢者へのタクシー助成制度を検討してはどうか。

答 本市ではふれあい送迎バスで診療所などへの移動支援、市内NPOによる福祉有償運送、地域運営組織や振興会が無償で移動支援など行ってい

る。今定例会に予約型乗合タクシー助成について提出している。タクシー助成は対象者助成額などの課題があり、今後、研究していく。

デジタル化の推進について

問 マイナンバーカードの普及状況は。

答 8月15日現在で35・7%。令和4年末での全市民取得を目指す。

問 高齢者や障がい者など、全ての人が利用できるための施策は。

答 生涯学習活動でパソコンやスマホの使い方講座などを実施していく。

問 公共インフラとして、スマホ、タブレットを全戸配布している他市の事例があり、独自のアプリを作成している。本市も同様に、行政サービスの利用申請、デマンドタクシー予約、リモート診療、生涯学習のリモート参加といったアプリの作成をしてはどうか。

答 現在、スマホ、タブレットの全戸配布は考えていない。今定例会の補正予算に、全国

のコンビニエンスストアでの住民票の取得システムについて提出をしている。

デジタル技術を活用した住民サービス向上につながる施策についてはワーキンググループで調査、研究していく。

空家の安全確保について

問 市内にある特定空家（倒壊しそうな危険な家屋）の昨年度の件数は。

答 昨年度新たに14件。累計60件で33件が除却済み。

問 住民からの相談窓口はどこか、また相談件数は。

答 相談窓口は都市整備課。昨年は37件の相談。



えのき ひでお
榎 日出男
議員

森林政策について

問 森林・林業における市としての基本的な考え方、将来ビジョンが本市に存在するの

か。本市には「新見市森林整備計画」が令和3年4月1日から令和13年3月末までの10年計画が示された。これは森林法に基づき、全ての市町村で定められた様式で必要事項が記載されたものであり、将来ビジョンとは異なるものと思われる。「植えて、育てて、伐って、売る」基本的な整備計画でなく、山間地において最も有望な森林資源を、いかに有効に利用し、本市の「一大産業」に創りあげて行くことへの計画が必要と考え、市として現状を見据え、将来を見越した「森林・林業・ビジョン」を作成し、多くの関係者に示すべきではないか。

答 本市における林業分野の基本的な考え方については、「新見市森林整備計画」に基づき計画的に森林整備を実施するとともに、第3次新見市総合計画に示しているとおり「伐って、使って、植えて育てる」という資源の循環サイクルの確立を図り、持続可能な林業を目指している。本市のすぎ、ヒノキの人工林は

県内最大の面積を誇り、伐採可能な50年生以上の林齢である。また、新見産材は、品質も良く市内の木材市場での取扱高も県内トップクラスとなっており、儲かる一次産業を推進する中で、本市の森林資源は最大の強みであり、森林環境譲与税を活用し、新見産材のブランド力の強化、木材の利用促進、植林の推進などに取り組み、林業の成長産業化を目指すこととしている。新たな森林・林業に関する将来ビジョンの作成については、調査、研究していく。





はやし しろ
林 司郎
議員

令和3年秋雨前線豪雨災害の対応について

問 市内全域の被害状況について。

答 雨量超過や崩土、倒木で国道市道の通行止め、農地・林地被害はあったが、人的・家屋の被害報告はなかった。

問 開設された避難所の状況について。

答 避難所には、延べ43世帯72人が避難された。各避難所では、コロナ対策を十分に行い、自主防災組織に協力してもらい運営を行った。

問 避難所の備蓄品の状況について。

答 道路の通行止めを考慮し、あらかじめ分散配置していた備蓄品を活用することで対応できた。

問 河川・道路の今後の整備について。

答 河川の浚渫は県と調整のうち、検討していく。道路については引き続き維持管理に努める。

地域公共交通体系の見直しについて

問 予約型乗合タクシーの実証運行の内容について。

答 高齢者の移動ニーズを把握するために千屋地域と坂本菅生の一部で運行検証する。

問 地域公共交通に関するアンケート・意見交換会について。

答 アンケートは6月にふれあいバスの利用登録者に、7月に通学利用の高校生と大学生に実施した。現在は、主に高齢者の移動実態を把握するために市内3千世帯に実施している。意見交換会は地域運営組織や振興会、老人クラブなどで行う予定で、地域の実情に合った交通体系の見直しに取り組む。

問 ら・くるっとの運行範囲の拡大について。

答 公共交通体系見直しの中で検討していきたい。

小規模多機能自治体について

問 既設の地域運営組織の現状について。

答 助け合い事業・学童保育・ふれあい祭や、自主防災会の設立などで持続可能なまちづくりに取り組んでいる。一方、コロナ禍の影響で交流事業ができない等の問題がある。



おかざき ひろお
岡崎 裕生
議員

JR芸備線利用促進について

問 JR西日本と沿線自治体との検討会議における協議内容とは。

答 芸備線の利用状況や利用促進に関して相互に報告があった。

問 本市の芸備線存続に向けた利用促進について、具体策は。

答 ①乗合タクシーによる駅

への利便性向上②観光やイベントなど地域の情報や魅力の発信③新見市鉄道利用促進協議会（仮称）の開催―などを行う。

他の自治体との連携は。

答 現在のところ、直接的な連携は考えていないが、芸備線周辺自治体とも密に協力して利用促進をしていきたい。

問 乗車料金助成やイベント助成の考えは。

答 利用促進策としては、今のところ考えていない。

新見駅周辺のまちづくりと博物館（美術館）整備について

問 新見美術館の現状と課題について。

答 収蔵作品点数も12000点を超え、収蔵庫の許容量の9割程度に達している。

問 新見駅周辺まちづくりに関するアンケートの中で、美術館に関する調査結果をどうとらえているか。

答 「移転を」と「現状で」との意見がほぼ同数であった。慎重な検討を行う必要がある。

と考えている。

問 美術館を核として、新見駅周辺を整備することについての考えは。

答 新見美術館は重要な施設と考えている。新見駅周辺のまちづくりの中で、総合的に検討を行っていきたいと考えている。

問 博物館の整備についての考えは。

答 文化遺産は、それぞれのいわれのある場所で、保存・展示が望ましいと考えている。

SDGsの推進について

問 SDGsへのさらなる取り組みは。

答 SDGsの理念に沿った市政推進に努めており、SDGsには積極的に取り組んでいると考えている。

問 2030年のSDGs達成に向けて、本市のあるべきビジョンは。

答 第3次新見市総合計画に示している「人と地域が輝き未来につながる源流共生のまち・にいみ」がそのビジョンである。



みやもと ひでき
宮本 英基
議員

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済支援について

問 中小企業者に対する市独自支援策はできないか。

答 収束が見えない大変な状況が続いており、市内業者への経済の影響は、長期化し幅広い業種において、経営が困難な状況になってきていることは承知している。早急に第2弾の一時支援金を実施していく。

公共施設の今後の方針について

問 新見市は、「公共施設の老朽化問題」が深刻な問題となっている。公共施設の現状について。

答 新見市公共施設等総合管理計画は、平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間として、約2万1千㎡の

延べ床面積を削減することとしている。令和2年度末の状況は、解体や売却などの削減が約1万5千㎡、施設の新設などによる増加が約9500㎡、差し引き約5千㎡の面積削減で、達成率は約25%である。

問 「削減は進んでいない」と考えるが、どのように考えているか。

答 集会施設は、老朽化が進み活用が難しい施設を、解体する方針である。地域の利用状況や意向を確認し、計画を変更していく。観光施設は、利用低迷の施設もあり、民間への譲渡、施設の集約、廃止を検討する。消防機庫は、統合だけでなく、地域内の公民館や集会施設など可能なものとの複合化を進め、削減を図る。廃校舎は、平成元年以降37校あり、未利用は小学校4校、中学校1校。新たな利用者の募集に努めていく。解体は地域の意見を聞き、耐震の観点などからも判断する。

問 公共施設を削減しないと財政は維持できないと考える

が、執行部の考えはどうか。

答 計画の数値目標を達成するために、利用度の低い施設、老朽している施設は、地域や指定管理者などの関係団体に積極的に話をし、売却・無償譲渡を進める。



ふるかわ ひであき
古川 英明
議員

コロナ禍における幼児教育・学校教育のあり方について

問 学校現場でのコロナ対策の現状と課題は。

答 現場でのコロナ対策は文部科学省のマニュアルに沿ってしっかりと対応。課題は、学習活動とコロナ感染症予防対策の両立である。

問 教職員や放課後児童クラブの支援員へのワクチン接種の状況はどうか。

答 教職員へのワクチン接種は、9月末までに完了する見込みで、接種率は95%程度。

支援員は、現在6割のクラブで2回接種完了。

問 修学旅行などの学校行事や部活動への対応は。また、児童生徒への心理的影響や家庭環境の変化への対応は万全か。

答 緊急事態宣言中は市外県外を目的地とする学校行事は延期または中止、部活動も日常的な活動は原則禁止、修学旅行は学校間で大きな差が出ないよう指導。また、児童生徒の欠席には細心の注意を払う対応し、場合によってはスクールカウンセラー等が児童生徒及び保護者への支援を行う体制をとっている。

空家対策の現状と課題について

問 最近の空家件数の傾向は。また、移住者を対象とした空家バンクの利用状況は。

答 空家は年々増え、今後も増加が考えられる。空家バンクの過去5年間の登録件数は、100件、成約は76件、補助制度の活用は、89件で、しっかりと活用されている。

問 移住者のみならず、市民にも空家を利活用できるような支援を充実できないか。

答 市内在住者の転出抑制の可能性もあるので、支援の方法を検討していきたい。

交通弱者へのタクシー利用助成金の創設について

問 交通弱者へのタクシー助成、もしくは乗合タクシーの運行はできないか。

答 様々な課題があるので、今後調査、研究をしたい。乗合タクシーについては、今回の実証事業の結果をもとに今後検討していきたい。



なかだ よしと
仲田 芳人
議員

ソフトボールのまちについて

問 二度提案したが、なぜ五輪女子ソフトボール金メダル獲得を祝福感謝する懸垂幕を

市庁舎に掲げなかったのか。

答 郷土ゆかりの選手の在籍がなく、懸垂幕掲示に至らなかった。「ソフトボールのまち」を積極発信することが、本市のPR、市内のソフトボールに携わる人々を元気づけることにつながるので、今後はそうした考えを持ち取り組みたい。

移住誘導について

問 哲多町花木中組は、最近移住者が相次ぎ、洋菓子店がオープンするなど来訪者が急増している。優れた事例の全市共有は、自立のまちづくりや移住誘導につながると思うが。

答 移住希望者が移住するまでには、空家や土地、地域の協力体制など様々な要件が関係する。中組はそれらの要件が移住ニーズにマッチした優良事例。当地区は移住者のネットワークや地域住民の協力が充実し地域に賑わいが創出され、来訪者増につながっている。優良事例を全市的に共有することは大変重要なこと。

住民参加のまちづくりについて

問 米国の社会学者シェリ・アーンスタインの「住民参加の梯子（はしご）」8段階は、自治を基本とした住民参加のまちづくりを段階評価する格好のものさし。本市の住民参加は、その梯子の何段階に位置すると考えるか。（注：住民参加の梯子とは、1「世論操作」、2「不満をそらす操作」、3「一方的な情報提供」、4「形式的な意見聴取」、5「形式的な参加機会拡大」、6「官民の共同作業」、7「部分的な権限移譲」、8「住民主導」の8段階）

答 分野や地域で住民参加は異なり、一概にどの段階と言ふのは難しい。各種審議会、アンケートやおでかけ市長室等を通し市民の意見を市政に反映させており、一定程度の住民参加はできており、梯子の4か5ではと思う。上の段階に近づくため、地域運営組織の取り組みを更に促していきたい。

産業建設常任委員会視察

産業建設常任委員会は、8月3日午後、市内観光施設の新見千屋温泉いぶきの里を視察しました。改修工事終了後、営業再開に向けて最終確認段階での現地視察でしたが、各委員は、新しくなった温泉施設について、商工観光課の担当者や指定管理者からの説明を受け、内容を確認しました。

改修工事は、①リニューアル工事(総事業費5億9653万7千円)と②バイオマスボイラ設置工事(総事業費1億5976万4千円)で、このうちリニューアル工事の主な内容は、全館のLED照明化や授乳室の設置、空調設備の改修、パーティションの設置を含むレストランの改修などでした。

これらの改修工事から期待される効果としては、CO2の削減につながる環境に配慮した施設運営や林業振興、集客力の向上です。

指定管理者の株式会社ワールドインテック・出水部長は、「リニューアルによって、新見市観光の玄関口としてふさわしい温泉施設になった

と思います。地元の皆様とともに集客に務め、親しまれる温泉にしたいです。」と抱負を述べられました。視察質疑の主な内容を紹介いたします。

委員問 レストランの客席がパーティションで区切られているが、客席数はどれくらいあるのか。

回答 窓に面したカウンター席を含めて100席用意している。なお、大広間は、食事のしやすさで椅子がけを採用した。

委員問 バイオマスボイラを導入して燃料費はどれだけ削減できるのか。

回答 推定値(平成30年9月定例会答弁)年間1840万円のランニングコストが1090万円に削減見込みはあるが、実際に稼働してみないと今の段階では、明確にいけない。



新見市議会の動き

新見公立大学防災拠点化推進議員連盟を結成しました

新見市議会では、「新見公立大学防災拠点化推進議員連盟」を結成しました。

【目的】

この議員連盟は、市民及び新見公立大学(以下「大学」という。)の学生が、災害時等においてより安全かつ確実に移動・避難すること並びに適切な避難期間を通してより安心した避難所生活を送ることができるとともに、大学を地域の重要な防災拠点の一つと位置付け、大学施設及び大学への避難道等の整備により本市の地域防災機能の強化を図り、市民福祉の向上を目的としています。

【活動内容】

大学における防災機能強化や大学へのアクセス改善に資する各種調査協力及び関係団体への要望活動、防災活動等を目的とした団体との活動連携を行ってまいります。

会長 林 光和
副会長 塩飽 満路

※全議員が、この議員連盟に賛同しています。

議長等の活動報告

- 7月2日 岡山ガールズイラストレーション開会式に出席〔議長〕
- 5日 主要地方道新見勝山線他期成会合同要望活動（岡山県庁）〔議長〕
- 7日 主要地方道新見勝山線他期成会合同要望活動（リモート開催）〔議長〕
- 12日 地域おこし協力隊活動報告会に出席〔議長〕
- 19日 新見美術館・新見公立大学連携協定締結式に出席〔議長〕
第27回新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席〔議長〕
- 21日 山田方谷、大河ドラマ化に向けての講演会に出席（高梁市）〔議長ほか〕
- 27日 横田新見間道路促進協議会決算監査を実施〔議長〕
- 30日 議会運営委員会
- 8月2日 第39回新見検察審査協会定期総会に出席〔議長〕
総務消防常任委員会
- 3日 産業建設常任委員会
- 6日 令和2年度新見市成人式収録〔議長〕
文教福祉常任委員会
- 10日 千屋温泉いぶきの里グランドオープン式典に出席〔議長〕
- 13日 令和3年秋雨前線豪雨災害対策本部会議に出席〔議長〕



▲千屋温泉いぶきの里

- 8月16日 第51回岡山市議会議員研修会（オンライン開催）〔議長ほか〕
- 19日 新見市交通安全対策協議会（書面会議）〔議長〕
令和3年秋雨前線豪雨災害対策本部会議に出席〔議長〕
- 21日 令和3年度新見市戦没者追悼式に出席〔議長ほか〕
- 23日 議会運営委員会
- 27日 介護老人保健施設等管理運営委員会に出席〔議長〕
- 30日 議員全員協議会
9月新見市議会定例会本会議（開会）
- 9月7日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 8日 本会議（一般質問）
- 10日 総務消防常任委員会
第31回新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席〔副議長〕
- 13日 文教福祉常任委員会
- 14日 産業建設常任委員会
元市議会議員叙勲伝達式に出席〔議長〕
- 15日 予算決算常任委員会
- 16日 予算決算常任委員会／産業建設常任委員会
- 21日 新見駅周辺地域のまちづくり特別委員会
- 22日 交通安全街頭査察に参加〔議長〕
議会広報特別委員会
- 27日 議会運営委員会
新見第一中学校ソフトボール部優勝報告会ならびに新見高校男子ソフトボール部準優勝報告会に出席〔議長〕
- 28日 議員全員協議会
本会議（閉会）
- 30日 第32回新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席〔議長〕

令和3年度政務活動費の自主返納について

政務活動費は、新見市議会議員の調査研究活動に要する経費の一部として、新見市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき交付されるものですが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染症拡大防止事業や経済対策事業の施策に有効活用していただく目的で、全議員で協議を行い、令和3年度は年間政務活動費の1／3を自主返納いたしました。

市民のQ&A

議会Q&A



Q 会派ってなに？

A 市政について同じ考え方や意見をもった議員が、グループをつくって議員活動を行うために結成されます。このグループを会派といいます。

現在新見市議会には2つの会派が存在します。

【会派】

- ・ 絆民クラブ（ばんみんくらぶ） 平成27年3月26日結成
（代表者） 榎 日出男
（所属議員） 塩飽満路、林 光和、宮本英基、土屋 将
- 【5名】

- ・ みんなのにいみ（みんなのにいみ） 平成29年4月25日結成
（代表者） 古川英明
（所属議員） 岡崎裕生、西川照雄、仲田芳人、林 司朗
- 【5名】

※正副議長は会派に所属しません
友好会派のため、お互いの勉強会に出席するなど、交流を行っています。

12月定例会(予定)

20日 (月)	16日 (木)	15日 (水)	14日 (火)	13日 (月)	10日 (金)	9日 (木)	8日 (水)	7日 (火)	6日 (月)	12月 3日 (金)	11月 25日 (木)
本会議 閉会	委員会 予備日	議会広報 特別委員会	新見駅周辺地域のま ちづくり特別委員会	予算決算 常任委員会	産業建設 常任委員会	文教福祉 常任委員会	総務消防 常任委員会	本会議 予備日	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 開会

編集後記

長引くコロナの影響も少しずつ収束を感じていますが、まだまだ油断はできません。市民の皆様も不慣れた生活と、不安な日々をお過ごしと思います。

一方、日本の政治に目を向けてみると、自民党総裁選に続き、衆議院議員選挙と慌ただしい様相を呈しています。そのような中、先日勇退したドイツのメルケル首相は、「民主主義のもとでは政治的決定は透明性を確保し、説明を尽くす必要がある」と言っています。

新見市議会も陳情に挙げられた「選択的夫婦別姓制度」の検討や、新見駅西エリア整備をはじめ、新見駅周辺まちづくり事業など、これから市民の皆様の意見をいただき、しっかりと検討することも、丁寧な説明をしていかなければならないと考えています。

新しい体制で2回目の市議会だよりを発行しました。市民の皆様により、親しみやすいものになるよう、レイアウトや文字の大きさを変更するなどの新しい取り組みも行っています。

(林 司朗)

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501
新見市新見310-3
電話 0867-72-6151
FAX 0867-72-6183

メール
gikai@city.niimi.lg.jp